

講演会のご案内

感染症分野では日本を代表する岩田健太郎先生が篠山に来られます！！

性教育について独特の明快な岩田節でお話を聴ける、とても貴重な機会ですのでぜひ皆さんお気軽にご参加ください。特に中高生のお子さまをお持ちの保護者様、学校の先生方には、多数ご参加いただきたく思います。みんなで性教育について学びましょう！

「はじめての、みんなのための性教育」

講師：岩田健太郎医師（神戸大学感染症学講座教授）



略歴：1971年島根県生まれ。島根医科大学（現島根大学）卒業。

沖縄県立中部病院、コロンビア大学セントルークス・ルーズベルト病院などで研修後、中国で勤務。2004年帰国し、亀田総合病院感染症内科部長を歴任し、2008年より現職。

資格：日本内科学会総合内科専門医、日本感染症学会専門医、米国内科専門医、米国感染症専門医、ロンドン大学修士（感染症学）、米国内科学会フェロー（FACP）、米国感染症学会フェロー（FIDSA）、PHP ビジネスコーチ、FP2 級。日本ソムリエ協会ワインエキスパート。

著書：「感染予防、そしてコントロールのマニュアル—すべてのIGTのために」、
「予防接種は「効く」のか？ワクチン嫌いを考える」、「ある日、ワタルさんはエイズになった。」、などなど多数。

日本では中高生の性交渉経験率が増えていましたが、この10年くらいは逆に減ってきています。いわゆる「草食化」が起きているのかもしれませんが。その一方で、一定の割合で性交渉は行われ、やはり一定数の性交渉に関連したリスク（例えば、「望まない」妊娠、例えば、感染症）が起きています。一定数の中高生がリスクにさらされている事実があるなかで、そのリスクをほったらかしにしてはいけません。なので、リスクを回避するための「性教育」は必須です。

しかし、単に性に関する情報を提供するだけでは、意味のある「性教育」とはいえません。性教育は単に知識を伝えて覚えてもらうだけでなく、人間としてきちんと「生き延びていく」ためのスキルを提供しなければならないからです。

一回だけの講演で性教育が完成するわけではありません。むしろ、今回の話から皆さん自身が子どもたちに性をどう教えていくか、そのヒントになれば幸いです。 岩田健太郎

日時：平成26年5月24日（土）14時より

場所：小嶋医院 2階 エステルホール

〒669-2451 篠山市北45-4 Tel:079-590-2350

費用：無料

会場準備のため、参加ご希望の方は前もって小嶋医院受付（079-590-2350）までお電話いただけましたら嬉しいです。もちろん当日参加も大歓迎ですが、座席の準備が出来ない可能性がありますので御了承ください。